

みみタロウ

にほんごばん 日本語版 ☆ 1 2 7 号 2 0 1 8 年 4 月


しがけんこくさいきょうかいぼらんていあぐるーぷ「みみタロウ」
滋賀県国際協会ボランティアグループ「みみタロウ」

おおつし はま びあざ おうみ
大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2F

Tel/Fax : 077-523-5646

E-mail : mimitaro@s-i-a.or.jp

URL : http://www.s-i-a.or.jp

 : https://www.facebook.com/siabiwako



いちご作りに夢をみつけた!



こんかい たろう たかの えん りゅうおうちょう けいえい えら で おりべいら りりあ きみえ はなし うかが
今回みみタロウは、「高野いちご園」(竜王町)を経営するエラ デ オリベイラ リリア キミエさんにお話を伺いました。



わたし ねんまえ ぶらじる
私は20年前、ブラジルから
らいにち なが あいだこうじょう はたら
来日し、長い間工場で働いてい
ましたが、ひょんなことから今の
しごと
仕事をするようになりました。それ
は13年前、仲間と竜王町にナシ
が い と き みちばた たくさん やさい いちご も
狩りに行った時のこと、道端に沢山野菜の入った袋を持って
いる高野さんのおばあさんを見かけて野菜を売ってもらった
ことがきっかけです。それ以来夫婦で時々野菜を買いに行く
と、おばあさんから農作業の手伝いを頼まれるようになりました。
わたし こうじょう しごと まった ちが のうさぎょう たの
私たちも工場の仕事とは全く違う農作業はとても楽しく、
す とれ すかいしやう しゆう かい やきん あ
ストレス解消にもなったので、週に2、3回、夜勤明けからの
かえ た よ しゆうかく つちはこ よろこ べつた
帰りに立ち寄り、収穫や土運びなどを喜んでお手伝いして
いました。そのようにして10年程経った頃、おばあさんが
たいちやう えん けいえい なや
体調をくずしていちご園の継続について悩まれることがあり
ました。その時、「あなたならまかせられる」と言ってもらい、
わたし えん けいえい ゆず わたしじしん
私にいちご園の経営を譲ってくださったのです。私自身、
これから先のことを考えると、いつまでも工場勤務を続けら
れられないし、帰国するつもりもないので、長く続けられる農業を
やってみようと考えました。思い切って工場をやめ、一年間、
たかの いっしょ はたら づく ほんかくてき おし
高野さんと一緒に働きながらいちご作りを本格的に教えてい
ただいた後、2年前に独り立ちしました。昨年には、これまで
あ と ねんまえ ひと だ さくねん
あった5棟のイチゴハウスに加えて、自分たちで購入した
とう いちご はうす くわ じぶん こうじゆう
土地に、融資を受けて新しい2棟を増設し、一万株のイチゴ
さいばい いちご どりけーと さくもつ さき こと
を栽培しています。イチゴはデリケートな作物なので先の事
はわからない難しさはありますが、今のところは順調で、い
くら作っても足りないぐらいです。

いちご園の経営を始める前は、おばあさんがお一人でや
っておられる仕事なのだから、私なら簡単にできるだろうと
たか をくくっていましたが、それは大きな間違いだと痛感するこ
とになりました。いちご さいばい まいにち あさ ゆうがた はうす
イチゴの栽培では、毎日、朝と夕方、ハウス
にきて みず ひりやう きおん かんり ひと いちご じょうたい
来て、水、肥料、気温を管理し、一つずつイチゴの状態を
ちえつく いちご しゆうかくじき がつ
チェックしなければなりません。イチゴの収穫時期は12月
ちゆうじゆん がつけじゆん お あたり なえ
中旬から5月下旬ですが、それが終わると、新しい苗の
さいばい いちねんじゆうて ぬ と き けいえいめん
栽培にかかり、一年中手を抜ける時はありません。経営面
では、注文を受け、店やお客様の家にイチゴを配達し、さら

いちごが きやくの たいおう
にイチゴ狩りのお客さんの対応もします。このため収穫時期
にはとても一人では手が回らず、夫や息子にも仕事の合間
おうえん たの ちゆうもん う いちご かなら かくほ
に応援を頼んでいます。注文を受けたイチゴは必ず確保
しなければならず、それに加えて直売もするので、イチゴが
た 足りなくならないか、また反対に余ってイチゴが悪くならない
かはら ちはら ひ わる てんき つづ しゆうかく
か、ハラハラしない日はありません。悪い天気が続くと収穫が
おく むき ふ じよせつ はうす びにーる あな
遅れますし、雪が降ると、除雪しないとハウスのビニールに穴
あ が開いてしまいます。台風でハウスが潰れたこともあり、そん
とき よる ねむ あさ しゆうか ひ のぼ
な時は夜も眠れません。朝の出荷のためには、日の昇らない
うちから準備したりと、イチゴ園の運営には時間も休日も関係
ありません。そういう意味では、定時で働き土日は休める勤
め人の頃の方が気楽だったかもしれませんね。でもそんな
くろう きやくの 「おいしいねえ」の一言で全て吹っ飛ん
でしまうんですよ。

わたし おお こうらん たかの であ ひと
私の大きな幸運は、高野さんとの出会いと、もう一つ、この
土地でハウスを持てたことだといつも夫婦で話しています。
ちい き みな あた た えん けいえい せ わ
地域の皆さんはとても温かく、いちご園の経営でもお世話に
なっています。ハウス建設資金の融資の際には、書類の
じゆんび わたしひとり とういてい かがた
準備など、私一人では到底できなかつたことをいろんな方々
に助けいただき感謝しています。地元でイチゴの配達に行く
い さきさき ちや の こえ
行く先々でお茶を飲んでいくよう声をかけてくださいます。
にほん ふる ちい き なか がいこく きた
日本の、しかも古くからの地域で暮らす中で、外国から来た
わたし ぶんか ねんれい かんが かがた ちが
私たちと文化や年齢による考え方の違いがあるのはあたり
まえです。その上で、私の場合は、まずはお話をしっかり聞
いて相手を尊重すること、そして仕事ではどのお客さまにも
まんぞく あいて そんちやう しごと きやく
満足していただけるよう気配りすることを心がけています。

たかの ふさい いま げんき やさい つく
高野さんご夫妻は今も元気で野菜を作っておられ、
はうす まいにち かお だ あどばいす
ハウスにも毎日のように顔を出してアドバイスをくださいます。
そのためか、多くの人は私のことを高野さんの親戚と思われ
て、よく「高野キミエさん」と呼ばれたりするんです。そんな
たかの きみえ よ
たかのご厚意に敬意を表して、私はいつまでも「高野い
ちご」の名前を大切に守っていくつもり
です。そして、いつの日か、滋賀が誇
ぶらんど いちご そだ わたし ゆめ
るブランドイチゴに育てることが、私の夢
です。

